

一往直前

はじめての定期テスト&交通安全教室

7月9日(木)に、1学期期末テストがありました。1年生にとっては、中学生になって初めての定期テストであり、朝の登校も全体的に早く、この



テストに向けての意気込みを感じました。2年半

後の高校受験を見据えて、ナップランドやテストに関係する資料等は、教室に持ち込まずに廊下に整頓して置き、机の中や周りには必要のないものは置かず、筆記用具のみ用意することにしました。テストに関する注意点は、前日の学活、そして朝まで黒板に貼ってあった「テストの受け方」で

しっかり確認できたと思います。朝読書の時間も最後のテスト勉強を黙々と行っていました。

今回のテストは①国語 ②社会 ③数学 ④理科 ⑤英語の順で行いました。1時間目はさすがに緊張している感じが伝わってきましたが、だんだんと慣れてきてテストに集中できていたと思います。最後にはどの子も、自分の精一杯の力を発揮して充実した表情でした。何人かの生徒に声を掛けると、「すべて埋めることができました。」とか「難しかった〜。」とか「先生、かなり頑張りましたよ。」などと答えてくれました。



今日までに、教科によっては答案が返却され、テスト反省も行ったと思いますが、テストというのは、やりっぱなしではなく、自分の実力が今どのくらいで、今後どう対策をしたらいいかを考えるきっかけにもなります。

できていなかったところをもう一回覚え直したり、答えを隠して再度解いてみたりすると今後生きてくると思います。



7/10 交通安全教室



3組 進士武琉くん



5組 松崎蹴隼くん

7月10日(金)の志タイムでは、交通安全教室が開かれました。自転車の乗り方や交通規則の確認、代表者による実演・解説等をしていただきました。今回の話をきっかけに、自転車通学者だけではなく徒歩通学者も、再度自分の自転車運転について見直し、さらに安全な運転を心掛けてほしいと思います。現状、一時停止無視、2列走行などの違反行為で違反切符を切られている生徒も出ています。さらに、雨

の日に坂で転ぶなどケガをした生徒もいます。7月11日~20日は県の交通安全週間です。御家庭でも、自転車の乗り方についての確認や声掛けをよろしくお願いします。

レジ袋有料化から考える環境教育

7月1日（水）から、全国的にレジ袋が有料化されました。スーパーはもちろん、コンビニやドラッグストア、書店での買い物にも、今後はエコバックが必要となっていきます。

経済産業省は「プラスチックは、非常に便利な素材です。成形しやすく、軽くて丈夫で密閉性も高いため、製品の軽量化や食品ロスの削減など、あらゆる分野で私たちの生活に貢献しています。一方で、廃棄物・資源制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの課題もあります。私たちは、プラスチックの過剰な使用を抑制し、賢く利用していく必要があります。このような状況を踏まえ、令和2年7月1日より、全国でプラスチック製買物袋の有料化を行うこととなりました。これは、普段何気なくもらっているレジ袋を有料化することで、それが本当に必要かを考えていただき、私たちのライフスタイルを見直すきっかけとすることを目的としています」と言っています。

ところで、SDGsという言葉を知っていますか？SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。豊田中でもここ数年は、SDGsを掲げ、環境教育に力を入れてきました。化石燃料等、限りある資源を大切にしていくことやプラスチックごみを増やさないことは、SDGsの中の《目標7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに》《目標12. つくる責任 つかう責任》《目標13. 気象変動に具体的な対策を》《目標14. 海の豊かさを守ろう》あたりが関係していると思います。

しかし今すぐに、プラスチック製品を一切買わず、製造もしない、ということはとても現実的とは言えません。レジ袋以外のプラスチックごみのほうがいっぱい問題があることも承知しています。しかしレジ袋については、エンドユーザーである私たち消費者が、「使うか使わないか」を自分の意思で選択しやすいのです。レジ袋をもらわずにエコバックを使う、といったことは誰でもできるエコな活動としてこれまでも取り組まれてきましたが、改めて有料化に伴ってレジ袋を使う人が減れば、石油由来のプラスチックを原料とするレジ袋の製造量を少しでも抑えることができ、わずかでも環境負荷を減らすことにつながっていくと思います。環境教育のきっかけとして、ぜひ、御家庭でもこのことについて考えてみてほしいと思います。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標



レジ袋に関するデータ



- ・日本国内のレジ袋消費量は約 360 億枚以上/年（1人当たり、1日約1枚は使う計算に）
〈2017年日本ポリオレフィンフィルム工業組合より〉
- ・現在レジ袋は、日本では年間300億枚、乳幼児を除いた国民一人あたり約300枚が使用されているので、原料の石油に換算すると年間50万kℓになる。これは、日本人一人あたり3ℓ使用している計算である。日本の石油消費量は年間約2.4億kℓであり、このうちの50万kℓなのだから、レジ袋の石油使用量は、日本の石油消費量の0.2%に相当する。
〈中央大学論文より〉
- ・プラスチックごみの海洋汚染に関するデータによると、レジ袋を含めたポリ袋のごみは、全体において、重量は0.4%、容積は0.3%、個数では0.6%を占める。
〈中央環境審議会循環型社会部会プラスチック資源循環戦略小委員会（第3回）資料より〉